



## 地区活動報告

### クラブ社会奉仕委員長会議

地区社会奉仕委員長 上野山 栄作

私たちは「世界を変える行動人」として、地域のニーズに応えて、現代社会の変化に適応できる機能的な奉仕活動を行う必要があると思います。その為には、各クラブは地域リサーチを行い、地域課題に適した奉仕活動を計画していくべきだと思います。ロータリーは地域の人々に求められる奉仕団体として、インパクトのある社会奉仕事業を行つことは地元に対する存在意義であり、クラブ存続の鍵とも言えるでしょう。

このコロナで停滞した時期に各クラブはエリアでの地域課題をリサーチし、その課題解決に少しでも貢献できる事業を模索し、計画して頂きたいと考えました。その為に当委員会では、コロナ問題も含め、各クラブの地域課題へのアプローチとRI行動計画に適合した奉仕事業の実施計画を考えるべくフォーラムを開催しました。

#### テーマ 「今、ロータリーが行うべきこと」

コロナ事業の模索と地域課題に対応した事業  
シミュレーション

日 時:2000年9月19日 14:00 ~ 16:30

場 所:JAビル2F

参加人数:61人

#### 内 容:

##### 1. 事前調査票によるリサーチ(期間:8月中)

- ① 各クラブの行う地域に影響力のある事業について
- ② コロナウイルス関連の事業についての計画や報告
- ③ 地域の課題を考えてもらい、解決に向けた事業について

事前の調査票に関しては67クラブ中45クラブの協力を得ることが出来ました。コロナに対する事業を行っているクラブは15クラブでした。地域課題を12項目に分けて各クラブエリアでの地域課題を考え、それに適合した事業をお考えいただいたこと自体が、奉仕への扉を開く一つの機会になったのだと思います。近隣エリアでの課題が類似する点、ロータリアンがどの課題に興味を示す傾向にあるのか等、興味深く理解できる点が多数あります。

※調査票のまとめを参照ください。

#### 2. フォーラム(委員長会議にて)

参加者全員が一体となれる様、会場レイアウトを参加型に配し、RI方式により、より多くの出席者に意見を述べて頂きながらコーディネートを行い、今後の具体的なクラブ事業に役立てて頂けるものとした。

##### ① 地域課題解決に向けた事業検討

調査票の地域課題の分類別に意見をまとめた資料をもとに意見を出し合いながら、既に事業化しているものや、できそうな事業について話し合った。

##### ② ウイズコロナの事業検討

調査票のコロナに関する事業例をもとに、自クラブで出来る事業等、話し合った。

フォーラムでは多くの方に発言の機会を作り、飽きさせない運営でした。参考になる意見も多く、他のクラブの事業を生かし取り入れるべき点も見出して頂けたと感じています。

※欠席された方は、記録動画をウェブでご視聴頂けます。

#### 社会奉仕委員長会議 セレモニー

<https://www.youtube.com/watch?v=Et14q4ZqlsU&t=8s>

社会奉仕委員長会議 フォーラム①地域課題解決に向けた事業検討

<https://www.youtube.com/watch?v=bGD2P-t5WTM&t=8s>

社会奉仕委員長会議 フォーラム②ウイズコロナの事業検討

<https://www.youtube.com/watch?v=CAZgF2x5MP0&t=188s>





## 地区活動報告

### 全国統一アクトの日 Zoom で交流会

「アクトの日」は、9月10日に最も近い日曜日で、今年は9月13日(日)。全国のローターアクトクラブが奉仕活動を行い、市民へのアピール及びローターアクターの意識向上を目的とした行事です。

今年度は当地区インターハイクループとのコラボレーションで、共にコロナ禍の過ごし方など振り返り、今後を励まし合う交流会(ディスカッション)を開催しました。

なお、新型コロナウイルス感染防止を鑑み、従来の対面ではなく、オンライン(Zoom)で実施しました。

メインプログラムのテーマは、「～コロナ禍に負けないで、これからも頑張るぞ！～」で、ディスカッションには、藤井ガバナーをはじめ、豊岡地区社会奉仕委員長、藤川地区ローターアクト委員長、原谷地区ローターアクト代表、川真田地区ローターアクト幹事らが、ガバナー事務所から参加。各ローターアクトクラブとインターハイクループから多くのメンバーが、自宅等から参加し、交流を深めました。





## 地区活動報告

### 青少年長期交換学生帰国報告会 Zoom で開催

#### 地区青少年長期交換委員会

地区青少年長期交換委員会(委員長 中野 均)は、9月27日(土)、青少年長期交換学生帰国報告会を開催。今回は、新型コロナウイス対策として、オンライン上(Zoom)で実施しました。

地区からは、藤井ガバナーをはじめ、中野委員長ほか、関係の各委員長、副委員長、委員等が、ガバナー事務所から参加。画面を通して、交換学生の各報告受け、意見交換しました。

ロータリー青少年交換は、15~19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムで、参加した学生からは、海外での多くの体験を語ってくれました。



**rotary  
youth  
exchange**

Rotary

